

## 令和2年度中山間ふるさと保全委員会開催結果

### 1 開催日時

令和3年3月26日（金）13時30分から15時00分

### 2 場所

リモート

### 3 出席委員

星野委員長、中村委員、深町委員、安本委員、湯浅委員

### 4 議題

- (1) 令和2年度活動報告について
- (2) 令和3年度活動計画について
- (3) 基金の保有状況について

### 5 概要（結果及び主な意見）

#### (1) 令和2年度活動の報告について

##### <質疑応答及び意見>

Q： 実施を取りやめた活動が多いが、計上していた予算は、国等へ返還することになるのか。

A： 本事業は、京都府で積み立てている基金を活用して実施している。取りやめ等で執行しなかったものは、基金に戻し入れることになる。

Q： 活動に関わっていた大学生などが、定住したり、農業の担い手になった事例はあるか。

A： 地域外の方との関わりを作る目的で大学生と協働により市民農園を整備し、隣町の方ではあるが、借り手が決まった例がある。

O： 市民農園整備など、地域の方と地域外の方が共同作業を行い、共に苦勞することが、交流を続けるモチベーションになる。コロナ禍での活動は難しい面はあるが、都市・農村側の双方が工夫をして継続していくようにしてほしい。

Q： 京丹後市の自然工房あおきの取組について、他と比較してかなり異色に見えるが、取組の特徴などはどうか。

A： 都市部のレストランなど広報力を持つ者との連携で商品開発に取り組んで

いる。複数の団体と一緒に話し合っただけでコラボしたかったが、コロナ禍で一対一となった。

Q： 日吉町でエゴマの取組をしているが、エゴマは獣害が少ないと言われていたがどうか。

A： エゴマに取り組んだ理由は、獣害が少ないからである。収穫期に鳥害が少しある程度と聞いている。

Q： 各地域に地域おこし協力隊や集落支援員など地域支援人材が増えているが、そのような人材との連携はどうか。

A： あまり連携している実績はない。

南丹市の集落支援員、6名、京丹波町の地域おこし協力隊など地域支援人材との連絡会議を行っており、地域外ファンづくり事業などは連携して実施している。ほとんどが定住しており、地域の核となっている。

里の公共員が3名、地域おこし協力隊の方が任期を終了した方も含め20名程度おられるが、活動実施地区とは直接的なつながりはなかった。地域活動のリーダー的な存在の方も多いため、今後、連携も検討したい。

様々な形で地域外から地域に入ってきてもらっており、農産物のブランド化などに取り組まれている。

## (2) 令和3年度活動計画について

## (3) 基金の保有状況について

### <質疑応答>

Q： 農村コミュニティ再構築サポート事業について、どのように実施するのか。

A： 地域での話し合いをサポートする中間支援的な団体に、ワークショップの企画運営、ファシリテートなどを委託する予定としている。

Q： 具体的に委託先として想定している者はあるのか。

A： 現在、委託先を公募型プロポーザルの形式で選定中です。

Q： ラジコン草刈り機の購入には、どの程度費用がかかるのか。

A： 機械の能力やメーカーなどで価格差があり、百万円程度から数百万円するものもある。法面など傾斜への対応能力が高い機械ほど価格も高い傾向にある。

- 0： 中山間地域での、多面的機能支払の活動組織の広域化を図る上でのモチベーションにもなると考えるので、実証調査の結果をそのような活動組織の広域化に活かしてほしい。
- 0： 棚田オーナーや参加型住民づくり事業など、幅広く多くの方に参加してほしい取組などは、京都府ホームページでしっかり PR をしてほしい。
- 0： 広域的農地管理体制構築事業や農村コミュニティ再構築支援事業については、農業会議との連携も含めて、集落連携、広域化の取組を進めてほしい。
- 0： 令和2年度は、コロナ禍の影響で中止となった取組が多かったが、かなり対処の仕方も明らかになってきているので、安全対策を施しながら積極的に交流活動を推進してほしい。

#### 【まとめ】

- ・令和2年度は、コロナ禍の大変な中、よくここまで頑張って活動できたと改めて感じた。いろいろ工夫をしながら活動している団体が多いので、その工夫の仕方など、ノウハウの共有やマニュアル共有ができてくればよいと思う。
- ・三密を避けることで、ネットの利用が拡大し、使ってみると様々な可能性がある。オンラインだけではうまくいかないこともあるが、スマートなオンライン活用の取組があれば活動の幅は広がると思う。
- ・農村コミュニティ再構築支援事業など、新たな取組として提案があり、中山間地域にとって必要な対策をしっかりと取り組んで成果を出してほしい。